

ロバート・グラッサー(Robert Glasser)

国連事務総長特別代表（防災担当）兼 UNISDR ヘッド

Special Representative of the Secretary-General (SRSG) for Disaster Risk Reduction

1. 生年：1959 年生まれ
2. 国籍：オーストラリア
3. 学歴：オーストラリア国立大学
国際関係学博士号取得
4. 職歴など：

2003 年～2007 年：ケア・オーストラリア（CARE Australia）の Chief Executive（理事長）として、カンボジア、ベトナム、パプアニューギニア、中東地域などでの支援プログラムを管理監督。

2008 年 3 月～2015 年：ケア・インターナショナル（CARE International）事務局長。

* CARE International は 80 ヶ国以上の地域で活動を展開している世界でも最大規模の非営利人道支援団体。



CARE 入職前は、以下のような職務を経験：

オーストラリア国際開発庁（Australian Agency for International Development, (AusAID)） Assistant Director General として、パプアニューギニアやメコン地域でのプログラム、方針やインフラ・環境関連分野など、様々な職務に携わる。

コーネル大学平和学プログラム（Peace Studies Program）やカリフォルニア大学 Centre for International and Strategic Affairs を含む多くの学術機関にて、アメリカ合衆国エネルギー省（United States Department of Energy）のエネルギー・環境分野の国際的な政策に関する研究や、平和と紛争に関する研究活動に携わる。

その他の活動：

気候に関する国際行動キャンペーン（Global Call for Climate Action (GCCA)）の board member
* GCCA は気候変動のアドボカシーに携わる 450 以上の国内および国際機関が加盟しているグローバルな組織。

Core Humanitarian Standard Alliance (CHS Alliance) 運営委員会（Steering Committee）前議長。
* HS Alliance は、People in Aid と Humanitarian Accountability Partnership (HAP) が合併して発足した団体。

人道対応促進運営委員会 (Steering Committee for Humanitarian Response) 前議長。
* Steering Committee for Humanitarian Response は、人道支援を行っている大規模な国際非営利団体 NGO の代表者らで構成された団体。

気候脆弱性モニター2012 (Climate Vulnerability Monitor2012)諮問委員。

人道問題に関する国連トランスフォーマティブアクション運営グループ代表メンバー。
(Principals Steering Group of the United Nations Transformative Agenda for Humanitarian Action)

市民社会の将来的役割に関する世界経済フォーラムプロジェクト（Project Steering Group for the World Economic Forum project on The Future Role of Civil Society）の運営グループメンバー。